

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人和歌山県木質資源開発機構
活動テーマ	保育園児などに対する従来にない新しい防災啓発活動

<p style="text-align: center;">新南保育所の防災訓練</p> <p>2015 年 9 月 24 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>防災ソング踊り</p> <p>避難訓練</p> </div>	<p style="text-align: center;">宮北保育所の防災訓練</p> <p>2015 年 11 月 20 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>園児・保護者の防災ソング踊り</p> <p>試食体験</p> </div>
<p style="text-align: center;">河西保育所の防災訓練</p> <p>2016 年 1 月 8 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>防災紙芝居</p> <p>防災保存食のお話</p> </div>	

活動の目的は、保育園児に対する早期の防災教育と園関係者、園児の保護者、地域住民の人々の防災に対する意識を変え、防災力の向上を図ることです。早期の防災教育に欠かせないのが楽しさと実践的な訓練です。事業では「防災ソング」プログラム（歌とダンスと大型紙芝居）を活用しました。事業を進めるにあたり考慮したことは、園児のみならず保護者の防災力の向上でした。保護者の多くは共働きであり、地域の防災訓練などに参加することは稀です。しかし保護者世代こそが、地域防災の担い手です。保護者世代にこそ防災に興味と関心を持ってもらわなければなりません。そのようなことから事業で行った活動は①「防災ソング（DVD）」に楽しいダンスと大型紙芝居を加えた活動。②薪（備蓄燃料）とペール缶を使った火付け体験と備蓄食糧の試食体験。③備蓄食糧の配食訓練④防災ミニ講座（ライフラインって何？）。以上の4点です。①” 防災ソングは、巨大地震備えるための「ねぼすけナマズ（地震の揺れ対策と津波対策）」、台風に備えるための「台風ロックンロール」です。防災ソングは、全編、楽しいイラストとダンスの振り付けがついています。防災ソングのイラストカットを使用したのが大型紙芝居です。大型紙芝居は防災ソングの内容を復習するために使用しています。②” 災害時、ライフラインが使用できない時のために開発された「ペール缶コンロ（薪が燃料）」を使い、火付け体験を行い、湯を沸かし、備蓄食糧を試食します。③” 配食体験は、園児と保護者が、整然と二列に並び順に備蓄食糧の配食を受けます。④” 備蓄食糧ができて上がるまで約20分かかります。その間を使い、防災ミニ講座「ライフラインって何？」を開催し、保護者は災害時に役立つ防災の智恵を学びます。楽しくかつ実践的な訓練と講座は、保護者にも大好評で、園側も来年も継続して活動を行いたいとのことでした。